



政 晴 会 明ケ戸 亮 太 18  
**職員の多様な体験に向けて**

**問**職員が他の業種に従事する際に必要とされる営利企業従事等の許可制度が現状の多様化した民間の働き方とかけ離れていると考えるがどうか？

**答**総務部長 営利企業従事等の許可の判断は地方公務員法第38条の規定の趣旨に基づいて行うものであるが、この規定は、職務を遂行するに当たって常に中立かつ公正でな

ければならないといった公務の特性や全体の奉仕者としての公務員の地位の特殊性を前提として定められている。従って、現在の社会一

般における多様化した働き方には、必ずしも合致するものではないと認識している。

**問**営利企業従事等の許可

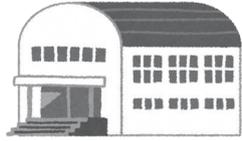


公 明 党 小ノ澤 哲 也 19  
**障がい者も含めた訓練を！**

**問**会派で、障がい者団体との意見交換を行った際、日頃から障がい者を含めた避難所の訓練を行ってほしいとの要望があったが、市の考えは？

**答**危機管理監 避難所運営に当たっては、障害者を含む要配慮者に配慮した運営が必要となるため、関係機関と連携し、障害者が参加する避難所開設・運営訓練が実施できる

よう検討していく。



**問**コロナ禍の災害対策



自由民主党 吉 敷 賢 一 郎 20  
**農家の現状とまちづくり**

**問**経営難や後継者不足等、将来を危惧する農家は多く、古谷本郷地区を中心に協議会がつくられた。この地域のまちづくりについて市長の考えを伺う。

**答**市長 この地域の地権者の声については、農業者の分野にとどまらず、本市東部地域の今後を展望する上で重要な課題と認識している。市として、こうしたま

ちづくりの要望があることをしっかりと受け止め、この地域の社会的、自然的要因等も踏まえながら、今後の土地利用の在り方等を多様な視点で研究していきたい。

**問**農業の現状と未来



政 策 フォーラム 高 橋 剛 21  
**荒川堤防かさ上げを早期に**

**問**大規模水害につながりかねない水害対策上の懸念箇所―JR川越線荒川橋りょう部の未整備となつていて、堤防のかさ上げの見直しはどうか。

**答**建設部長 JR川越線橋りょう付近の荒川堤防について、平成29年7月、平成30年2月に国土交通省へ要望を行った。その後、荒川第二・三調節池等の事業が着手された中

で、令和元年東日本台風の実情等を踏まえ、事業の早期完成に加え事業期間中の堤防の安全性向上を図る対策等に関する要望を令和2年10月にも行った。今後は、事業期間中においても河川管理者である国と水防活動を所管する本市が連携し、堤防の安全性向上を図られるように取り組んでいく。

**問**川合市政の12年



政 晴 会 川 口 啓 介 22  
**施設マネジメントの推進を**

**問**公共施設マネジメントの推進には、組織横断的な取り組みが不可欠だが、体制が整わず安易な方向に進むことは避けなければならぬ。市の見解は。

**答**栗原副市長 公共施設の整備更新に係る取り組みは、これまで、施設所管部署による検討を進めている。今後は、令和2年10月に策定した川越市個別施設計画（公共施設

設備）に沿って具体的に対応を進めていく。現在は、社会資本マネジメント課を設け、全体の方向性の整理や連絡調整を行っているが、施設所管部署の取り組みを一層推進するために必要と認める場合は、例えば、職員の配置や担当の設置など、組織の在り方についても検討したいと考えている。

**問**公共施設マネジメント



清 令 会 小野澤 康 弘 23  
**河越館跡エリアまちづくり**

**問**川越市霞ヶ関駅北口駅前整備も全て終わり、今後の駅北口から河越館跡のエリアにおいてどのようなまちづくりが考えられるのか市の認識を伺う。

**答**都市計画部長 このエリアは、公共交通アクセスが良く生活利便性の高い地域であるとともに、古代から中世に至る歴史の一ページにも名を刻んだ由緒ある地域でもある。

こうした特徴を生かし、地域の価値をさらに高めるために、新たに策定予定の文化財保存活用地域計画を見据えつつ、例えば川越市地区街づくり推進条例の活用等により、住民がまちづくりに主体的に取り組む意識を醸成し、個性的で魅力あるまちづくりの推進を図られるよう検討していく。

**問**霞ヶ関のまちづくり